

「子どもが心から楽しめるまんがを」 夢を描くまんが家

藤子・F・不二雄(藤本 弘)



まんがを描くことと読書が 好きだった少年時代

今日ぼくが描いた似顔絵を、クラスのみんながとても喜んでくれて、うれしかったな。次は、どんな絵を描こうかー。

藤子・F・不二雄(藤本弘)さんは、絵を描くことが何よりも好きでした。幼稚園のころから、紙芝居のようなお話つきの絵を、夢中になって描いていました。

また、読書も大好きで、『タンクタンクロー』『冒険ダン吉』などのまんがや、『西遊記』『水滸伝』などの物語、さらに『ファーブル昆虫記』『アルプスの氷河』など自然科学の本もたくさん読み、空想の翼を広げていたのです。

5年生のとき、転校してきた藤子不二雄A(安孫子素雄)さんと出会ってから、藤子・F・不二雄さんは、まんがを描くことにますます熱中するように

描くぼくが楽しみ、
読んでくれる人も楽しむ
そんなまんががずっと
ぼくの理想なんだ。

アイデアが浮かんだら、すぐに紙などにメモして、後でノートに貼り付けていたそうです。



なりました。一緒に4コマまんがを新聞や雑誌に投稿したり、『少太陽』というまんが雑誌を手作りしたりして、創作を続けていったのです。そして17歳のとき、『天使の玉ちゃん』という作品で、毎日小学生新聞にデビューを果たしました。

このまま、ずっとまんがを描き続けたいー。いつしか、藤子・F・不二雄さんの胸には、東京で本格的にまんが家として活動したいという夢が芽生えていました。

その思いは、日増しに強くなるばかりです。高校を卒業した藤子・F・不二雄さんは、ついに上京を決意しました。

藤子・F・不二雄さんのエピソード：藤子・F・不二雄さんは、歴史にふれる旅が好きで、世界各地へ取材旅行に出かけました。エジプトをはじめ、ギリシャ、スペイン、中国、メキシコ、タイ、ベトナムなど、さまざまな国を訪れました。

2 文化の花を咲かせよう

藤子・F・不二雄さんのミニ年表

西暦	年齢	
1933年		高岡市に生まれる
1944年	10歳	高岡市立定塚小学校で、転校してきた安孫子素雄さんとお出会う
1950年	16歳	安孫子さんと一緒に手作りのまんが雑誌『少太陽』をつくる
1951年	17歳	安孫子さんとともに、毎日小学生新聞にて『天使の玉ちゃん』でデビューする
1954年	20歳	上京し、本格的にまんが家生活をスタートする
1963年	29歳	『すずめポケット』他1作で小学館漫画賞を受賞する さまざまな雑誌に連載するようになる
1970年	36歳	小学館の学年別学習誌で『ドラえもん』の連載がスタートする
1973年	39歳	『ドラえもん』のテレビアニメ放送がはじまる
1987年	53歳	「藤子不二雄」のコンビを解消し、「藤子・F・不二雄」として 新しいスタートをきる
1996年	62歳	亡くなる

高岡古城公園動物園にある「絵筆塔」には、藤子・F・不二雄さんを含め、154名のまんが家が描いたカッパの絵が集められています。



藤子・F・不二雄さんのメッセージが刻まれている「ドラえもん散歩道」の石碑。

アイディアの「タネ」を育てる

上京した藤子・F・不二雄さんは、ひたすらまんがを描き続けました。

藤子・F・不二雄さんにとって、まんがを描くことは、とても楽しいことでした。ふと思いついたことを集めておいたノートを開き、さまざまなアイデアの「タネ」をじっくり研究するのです。

「このタネは、場面によって、おもしろい展開を生むかもしれない…」

藤子・F・不二雄さんは、さまざまな可能性を考えて選んだいくつかの「タネ」をもとに、キャラクターの気持ちに自分の心を重ね合わせて、まんがを描いていきました。ときには迷ったり遠回りしたりして、作者自身がドキドキしながら、キャラクターたちとともに結末をめざすのです。

体温を感じさせるようなキャラクターを描きたい。そのためにも、表情を大切にしなければ—。

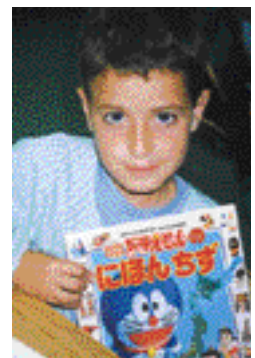
藤子・F・不二雄さんは、そんな細やかな心づかいで、読者である子どもたちへ限りない愛情を注ぎ、生涯ずっと子どもたちのためのまんがを描き続けました。『オバケのQ太郎』(共作)、『パーマン』、『キテレツ大百科』、『エスパー魔美』、『大長編ドラえもん』のシリーズ…。

好きだったSFや映画、落語、世界の歴史、古代の物語なども参考にして、たくさんのはらしい作品を生み出した藤子・F・不二雄さん。その藤子・F・不二雄さんが、最期まで情熱を傾けた『ドラえもん』は、今も世界中の子どもたちに愛されています。

日本のまんがやアニメは、海外の子どもたちにも大人気。日本が誇る文化の一つです。



「東京へ仕事で出かけたお父さんが、買ってくれたんだよ」と『ドラえもん』の本を大事そうに見せてくれたスペインの男の子。



ドラえもんは、世界中の子どもたちに愛されています。高岡市立定塚小学校4年の高田あかねさんが、テレビ放映した国(=国旗で表現)、映画を公開した国(=オレンジ色で表現)を世界地図にまとめてくれました。(データは小学館)

藤子・F・不二雄さんと同じように、まんがの世界に興味をもち、努力をした先輩がいます。次のページで紹介する藤子不二雄 A さんです。